

162号
Winter
2022

ま
ご
ろ

こ
ろ
ろ

ろ
ろ



全国まごころケアネット



正月飾り

CONTENTS

巻頭言 総力戦・大胆にして小心であれ・	1
孫子老だより 健康管理はユーモアと笑いで	2～4
センターだより	5～9
まごころケア旭川	「冬の入り口で」
まごころケア塩釜	「日本ケアシステム協会に寄せて」
まごころケアサービス福島センター	「まごころ・どんぐり学童クラブと私」
まごころケア国分寺	「主任ケアマネ研修」
まごころケアにこにこ三豊	「新春のおよろこびを申し上げます」
まごころケア屋島やすらぎ	「笑顔で繕う男性職員に感激」
まごころケア西春日	「峰山公園へ散策」
まごころケア高松	「瀬戸芸・秋会期」
コロナに感染しました	10
寄稿「海洋環境」	11～15
事務局通信	16

総力戦・大胆にして小心であれ・



特定非営利活動法人
日本ケアシステム協会
会長 兼間 道子

新春おめでとうございます。平素は弊法人事業にご高配を賜り、謹んでお礼を申し上げます。お一人ひとりの上に善い恵みが注がれますように衷心より祈っています。

この原稿が皆さまのお手元に届く頃にはサッカー世界一が決まっているでしょう。「大胆にして小心であれ」とは、実父が常に口にしていた諺で、子供心に意味を知らずに覚えていました。日本サッカーを率いる森保一監督を観て思いました。淡々とメモをとっている姿には繊細な印象が色濃く、どんな小さな箇所も見逃さない印象ですが、時折、ありったけの大きな声で大胆に躊躇ない指示を出すシーンに圧倒され目を奪われました。

50年前、私事です。学生時代にバスケットの試合で自分のパスミスによって入賞を逃したことを今も忘れません。コーチは常にムチを握っていました。今ならパワハラですが当時はむしろ美談でした。怒鳴られて転んで泣きながら立ちあがり、走った過去の事が重なって涙しました。ドリブルで速攻する場面では「大胆にして小心であれ」という諺が思い浮かびました。

日本チームの特徴である総力戦の戦法は、選手たちの個を尊重しながら連携プレーを基本に、一丸となって戦いに挑んでいるのだと仰っています。先輩後輩という上下関係や指示命令で鍛えられた時代は過去の手法のようです。

その手法は、会社の事業展開にも用いられ、社長も従業員もすべての存在は平等を基本とし、それをモットーに進めるのが大切だということです。業務命令や指示はもはや死語になりつつあるようです。耳にした話ですが、新入社員が社長の肩に手をかけ「社長、元気ないじゃん」その声に社長は、あたふたし返す言葉に窮したエピソードは、映画「釣りバカ日誌」を思い出しますが、もはや単に礼儀知らずだけでもなさそうです。

日本のサッカーの実力は、先人らが汗と涙の練習を積み重ね、応援者らと一体となってここまで来ました。ベスト8には届かなかったけれど両手が痛くなるほど拍手喝采で讃えました。

今年の目標を「総力戦・大胆にして小心であれ」を掲げたいところです。本年が皆さまにとって健やかで幸多い年でありますよう切に願います。それぞれの地で争いがなく、平和が増し加わることを心から謹んで祈ります。

まごころ 孫子老だより

健康管理はユーモアと笑いで

あけましておめでとうございます。
みなさまにとって今年も
健やかで、穏やかな一年になり
ますよう、お祈り申し上げます。

昨年末は、サッカーワールドカップでの日本代表選手らの活躍で盛り上がりました。サムライブルーのみなさん、勇気と希望を与えてくださりありがとうございました。そしてお疲れさまでした。今後も世界各地で日本人サッカー選手が益々活躍されと確信しました。それに比べて大相撲は、どうなっているのでしょうか。一人横綱照ノ富士は、白鳳や若貴時代に比べても勢いが無く、休みがち、大関も関脇もかろうじて勝ち越すありさま、さっぱり面白くありません。昭和の大横綱、大鵬の孫の王鵬か元横綱朝青龍の甥の豊昇龍が注目されますが、実力はまだまだです。

連日、大手メーカーの食品価格の値上げがニュースになっています、20円や30円の値上がりを少しづつされると、騒ぐほどでもないかと錯覚して実感があまり無いように感じます。実際は、一年前と比較

較して2割以上値上がりしている物もあり、消費税の税率アップの時は、あれほど大騒ぎして反対運動が起ったにも関わらず、最近の値上げ率20パーセントと言われても、しょうがないというあきらめ感は、どういふことなのでしょう。

新型コロナウイルスが変異を繰り返す、今冬も感染拡大、第8波と言われています。これから10年も経つと、「今季、感染拡大第30波到来」と言ったニュースが流れるようになるのでしょうか？

厚労省は、屋外でのマスク着用は、原則不要と言っていますが、実際のところ周りを見渡してもお店や屋外



で、マスク無しで歩いている人などあまり見かけませんし、マスク無しで人目を気にせずに行動する勇氣もありません、何かのきっかけが無い限り、マスクを着けたり外したりする日常が今後とも続いていくように思います。

新型コロナウイルス第6波が落ち着いた頃合いを見て北海道旅行に行っていました。三泊四日のツアーで訪れた所は、札幌、小樽、旭川、美瑛町、富良野を巡ってきました。旅の目的は、①北海道の美味しいものを食べる②星野リゾートに初宿泊といったところでしょうか、気候も良く天候にも恵まれて、ほど良い旅行でした。羽田空港での乗り換えで札幌到着が昼過ぎになるので、乗り換えの短時間で東京でしか食べられない昼食を食べようと空港内を歩きましたが、広すぎて、結局時間切れになり、サンドウィッチなどの軽食で済ませました。これから北海道の美食が待っているのではありません。このツアーの旅費が安かったのは、朝食以外は、ほぼ各自で自由食という内容なので夕食は、街に出

て好きなものを食べられるため、気ままな私どもにとっては好都合でした。

初日の札幌の夕食は、札幌ラーメンに決めました。

元祖札幌ラーメンとか〇〇系ラーメンとか、SNSなどで検索しまくって「信玄」という行列店に行きました。白みそベースで万人受けする味で美味かったです。ほったが落ちるほどかき聞かれたら、まあまあですね。夜には、まだ早かったので、路面電車で移動して札幌の夜景を見に行こうと、札幌もいわ山（標高531m）に登りました。電車站からシャトルバス、ロープウェイと苦労なく頂上に着きました。パンフレットの写真通りの素晴らしい夜景です。函館の夜景をしのぐのではないかというほど見ごたえがあります。（函館は行ったことはありませんが）

二日目の朝は、早起きして大通公園、時計台、道庁、札幌駅を抜けて北大と散歩してテレビでしか見たことがなかった実物の建物を見ることのでき満足しました。北海道大学



は、郊外にあるのかと思っていましたが、意外と街中にあるのに驚きました。大学内でクラーク博士の指差し像を探しましたが、ここには、無いとのことでした。学内の木にエゾリスが走り回っていて、さすが北海道だなと感じました。ホテルへの帰路で北海道発祥のローカルコンビニのセイコーマートに立ち寄りまして、見たことない飲み物や食品があり興味深かったです。昼ごろに小樽に着き、ここでは回転寿司を食べようと目指す店に行きました。ネタも大きく、珍しい魚もありましたが、ほったが落ちるほどかき聞かれたら、まあまあですね。小樽での観光は、短時間で運河沿いを散策しましたが、ほぼ土産物屋や観光客相手の食事屋さんばかりで最後には飽きてしまいました。石原裕次郎や著名人ゆかりの料亭「海陽亭」に行きた

かったのですが、閉業されているようでした。それから旭川に移動して、期待の星野リゾートOMO7旭川に着きました。このホテルは元の建物を改装した感じで、若干の古さは感じます。夕方に、翌日に行く旭山動物園の講習会があり、熊の話を一時間ほど聞いて、夜メシに旭川の街に繰り出しました。旭川では、ジンギスカンを食べようと一番有名な店を紹介してもらい「成吉思汗 大黒屋」という行列店に行きました。開店30分前ですが、すでに20名近くのお客さんが待つており、人気店なのだなと思いました。煙舞う店に入り人生初めてのジンギスカンを食べました。ほったが落ちるほどかき聞かれたら、間違いなくほったが落ちました。臭みは一切なく新鮮なラムの焼肉がこれほど美味しいものなのかビックリでした。

三日目の朝は、旭川駅を抜けて裏側にある北彩都ガーデンというピオトープのような広い公園を歩きました。早朝散歩にピッタリです。初

の星野リゾートの朝食は、まあまあですね、北海道自慢のゆめぴりか米

に山わさびをのせた「山わさびごはん」を薦められたので食べました。今まで一番美味かった朝食は、と聞かれたら門司港で泊まったホテルの朝食が最高でした。三日目は、旭山動物園、白金青い池（美瑛町）、ファーム富田（中富良野）、星野リゾート、トマム泊へと終日バス移動です。旭山動物園は、坂状の傾斜地にあるのでバスを降りた頂上から下りながら一番下の鳥舎に着いたら再度登って巡るので体力のない人は、登りがしんどいかもしれません。動物の行動展示で有名ですが寝ている動物も多く、まあまあですね、子供は喜ぶでしょう。オオカミだかキツ



ネか、わからない動物のぬいぐるみ好きの知人に、オオカミとキツネの人形を買って渡したら、これは、柴犬だと言われ贈り損をしました。最近有名になった「青い池」ですが、急激な人気に受け入れ体制がまだ整っていない感じがしました。感想としては青っぽい池に枯れ木が残っているただの池ですね、がっかりスポットかもしれません。その後、バスに乗り、富良野に向かい期待のラベンダー畑があるファーム富田に行きました。ラベンダーの開花には、少し早いぐらいでしたが、咲いている品種や他の花もあり、広大な施設で十分楽しめました。車道を挟んで向いにメロンを売りにしている別の会社の施設が隣接しているので、そちらでメロンパンやソフトクリームなどを食べましたが、この二つの施設がどうも仲が悪そうで、それぞれ買ったものをこっちに持ち込むな、とかの注意看板を掲げており、これは話のネタになると思いました。バスのガイドのお姉さんも「どういうわけかこの両施設は仲が悪いので買い食いの持ち込みは、注意してね」と言っていたのが印象に残りました。

夜ごはんは、郊外の自然の中にある星野リゾートトマムに隣接している多くの飲食店の中であらかじめ配布された食事券で食べることができました。海鮮居酒屋に決めて店に向かいました。どのお店も盛況のようです。真ほつけを食べました。ほつぺたが落ちるかと思われたらまあまあですね。木立に囲まれたリゾート地なので景色は良かったです。翌朝はトマムで売りの一つである朝の雲海テラスでの雲海景色の見学を期待していましたが、強風でゴンドラが休止して見る事ができず残念でした。

帰路、新千歳空港での待ち時間

間でお土産物の爆買いと空港限定のソフトクリームの食べ比べ、十勝名物の豚丼を食べるミッションが残っていたので、それらを順にこなしながら過ごしました。旅行中、隙間時間を見ては、ご当地ソフトを買い食いしていたので何個食べたのか覚えていません、どれが一番美味しかったですかと聞かれたら、甲乙つけがたいですね。羽田空港の乗り換え時間で自分への土産を買ってないことに気

付き、食べたことがなかった崎陽軒のシウマイ弁当を買いました。さすがに機内では二オイの問題で食べることができなかったのも自宅に着いてから食べました。ほつぺたが落ちるかと思われたら、まあまあですね。土産物で気付いた点ですが北海道の土産で一番種類が多く、買って帰りたい誘惑にかられるのが乳製品やチョコレート菓子や生ものですね、暑さに弱いのが残念です、クール便で送ったら問題ありませんが送料が若干高いので二の足を踏みます。またツアーで定番の郊外土産物店強制立ち寄りでもロンや毛ガニ専門店に立ち寄りしましたが、さすが北海道ブランドです、値段を見てビックリ！庶民の財布では、気軽に買えませんね。カニ風味のふりかけとメロン味の飴を買って終わりました。旅行中、感じたことがあります。バス移動で到着地につくと、我先に降りようとするのは、70歳前後の方、出発時間や集合時間の20分前には座席に座り、ギリギリの時間に帰ってくる若者を睨むのもこの高齢の年代の方、なんとなくわかる気もしますが集団行動を守っているようで自分中

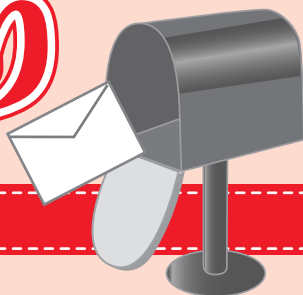
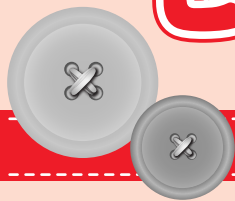
心のようにも感じます。反面教師にしたいですね。北海道は、魅力的でまだまだ行きたいところが多くあります、季節によっても見る景色が全く違うので機会があれば再訪したいと思いました。

新型コロナウイルスに翻弄された二年が過ぎました。奴らとの付き合い方もなんとなくわかってきたように思います。みなさまもお体に気を付けて風邪などひかないようご自愛ください。

孫子老太郎



センターだより



まごころケア旭川

冬の入り口で

武田 明子

旭川の冬はまるでベールの奥に隠れているかのようにひっそりと姿を見せません。期待しているわけではないのですが、冬はいつ来るのだろうと落ち着かない日々を過ごしています。とここまで書いて外を見るといきなり冬景色に代わっていました。なんとということでしょう。この原稿を皆様に見て頂ける頃は冬真只中。ここが冬の入り口です。

コロナは大きな波を迎えており、過去最高の患者数が報道されることもしばしばです。日常の活動も制限され、あきらめにも似たこの頃です。旭川市から抗原検査キットが配布され、週2回全員検査をするよう求められています。とはいえ、キットが無尽蔵にあるわけではなく半月限定の取り組みです。一人一人がうつらないよう、うつさないよう細心の注意を払うしかないと気合を入れています。

こうした状況の中で、月1回のヘ

ルパー全員参加の会議・研修開催も難しく、10月に1回だけ対面での会議を実施しました。たまたまヘルパーが訪問時に緊急対応をすることが3件続き、各ヘルパーの体験をもとに緊急時の対応を再確認することが出来ました。

喜びもつかの間、11月にはコロナの大波が到来。予定の会議・研修も対面での実施は見送られました。全体研修のテーマは「ヘルパーができる自立支援」。ヘルパーは利用者の身の周りの世話をするというだけではなく、それによって利用者の自立を促すことが役割だとわかっているのですが、ついつい時間に追われがち。そんな中でもすぐできることは、例えば調理であれば、メニューを決めてもらう、味付けをしてもらう、味見をしてもらう等利用者の活躍の場を積極的に作ることに。利用者の意思決定を促すことに取り組むこと。ヘルパーの小さな心掛けが利用者の大きな自立につながることを願っています。



まごころケア塩釜

日本ケアシステム協会に寄せて

坂井 洋子

恭賀新年

月日が経つのは早いもので、前理事長・坂井正義が逝ってから一年が過ぎました。兼間会長御夫妻はじめ、まごころケア会員の皆様には大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。

私自身、今後も生涯現役で小さい事業所ではありますが、仲間と共に地域の中でまごころケア塩釜を続けてまいりますので、よろしく願っています。

寒くなつてまいりますので皆様もご自愛ください。



福島センター

まごころ・どんぐり学童クラブ

山口
初子

11月末、福島県学童クラブ連絡協議会が設立10周年を迎え、その節目のお祝いに出席させて頂いた。この会は、東電原発事故に伴う放射線被ばくから子供を守り、安心安全に過ごせる居場所作りを目指して2012年に設立され、現在95クラブが会員となっていて、クラブ間の交流や研修を通じて学童保育の充実に取り組んでいるとのこと。県内の



福島県学童クラブ連絡協議会 設立 10 周年の催し（飯坂太鼓）

児童クラブの指導員の方々のほかに、全国の児童クラブの先生方が多数参加され、マイクに向かってご自分の立場をイキイキと語っておられ頼もしく感じた。

学童クラブの補助員としてお手伝いをさせて頂いている中「自分ができることは何!」と思っていたので、考える良い機会であった。

学童クラブは、子供たちが豊かな放課後を過ごす場である。

自身の過去を振り返ると、3人の子供は学童クラブで多くの方に沢山お世話になり成長したが、当時の私は忙しく余裕とユーモアが欠けていたと反省している。

今、大切なそれらを、個性豊かな子どもたちに寄り添い表現したいと願っている。

多様な役割が求められ、ひとつひとつの問題を学びつつ向かっているが、ベストな答えが難しく思われることも多く、スキルや専門性が必要だな…と感じている。

ただ、「まごころ・どんぐり学童クラブ」に、良き指導者と良きスタッフが居るのは心強く、感謝なことである。

まごころケア国分寺

主任ケアマネ研修

ケアマネージャー 宮本 茜

私は、平成29年にケアマネー
ジャーとして働き始めて、今年で6
年目となりました。順番待ちが多い
といわれる主任ケアマネの研修に申
し込んでみたところ、順が良く1回
目の申し込みで受講者定員に入る事
ができ、只今絶賛研修中です。

コロナ禍ということで教材が動画だったり、ウェブでグループ研修を行ったりとインターネットを使った研修があり、現地での集団研修がありと、最近流行りのハイブリッド研修を受けています。

研修では9つの分野からケアマ
ネージャーの倫理・知識・技術の他
に、主任としての心構えや視野と
いった事を学んでいます。習った事
を持ち帰り、自分の業務に落とし込
んで考えてみますと、今までとはま
た違った視点で人と関わる事の楽し
さを感じられるようになりました。

なんでも出来るハイパーな人材にはなれそうも無いですが、気持ちに

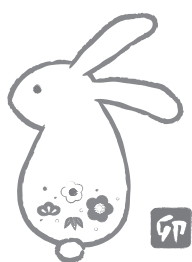
そつと寄り添える人間になつていくように、これからも頑張ります。

まごころケア
にこにこ三豊

汐見 美根子

新春の
おもしろさ
中一
年
生

世界中の
人々が
思いどおり
生き
送る
ように
Beethoven



まごころケア 屋島やすらぎ

笑顔で繕う男性職員に感謝

平畑 千重子

180センチもあるような長身を丸め、食事が終わった静かな食堂の片隅で、針を持った男の人がいる。「何がだよん」と数人のババ様が寄って行った。

「オーッ、何、スゴイ」口々に行っている。女の人のシャツらしき物、そのほつれをニコニコしながら繕っていた。机の上には、針箱ではなく小さな針袋があった。男の人が針を使っているのを初めて見るので、大変貴重な姿に見えた。

介護職員が蹴る殴るの暴行を行ったとかの記事を読んだことがあった。同じ職員の中でも所変われば、ニコニコと下着を繕っている若い男の人もいる。天と地ほど異なった感じがする。

一生の中で人さまとの出会いに恵まれば、これほど幸せなことはない、切に思えるようになったこの頃である。

まごころケア西春日

峰山公園へ散策

センター長 笠井 圭介

みなさま、その後お変わりありませんか。

まごころケア西春日では、11月下旬、デイサービスのご利用者さまを、歩行訓練を兼ねて、峰山公園に紅葉狩りにお連れしました。

「外出は久しぶり」「晴れていて気持ちがいい」。

お天気に恵まれた行楽日和の秋空の下、現地ではもちろん、行き帰りの車中でも話がはずみ、大変にぎや



かな楽しいひとときを過ごすことができました。

スタッフの見守りや介助のもと、思い思いに散策し、普段あまり話をしないご利用者さまもお互いに会話を楽しんでおられました。公園に訪れていた方とお喋りをされたり、なかには犬の散歩をしておられる方もいて、その方とお話しされたり、犬を撫でたりしておられました。

こうして利用者さまに開放的な気分を味わっていただくことができて本当によかったとしみじみ嬉しく思いました。

コロナウイルス感染拡大の終息がまだ見られない中、第8波に入ったとも言われており、今後感染者が増えれば様々なイベントも自粛せざるをえません。自粛による行動制限は

ご利用者さまの心身の衰えにもつながり、不安が募ります。

今後どのようなことが起ころうとも、利用者様の健康を守るために日々奮闘していくつもりです。みなさまご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。



まごころケア高松

瀬戸芸・秋会期

兼間 和行

昨年4月に春会期が開会した瀬戸国際芸術祭2022は、夏・秋会期と開催され11月6日に閉幕した。10月下旬というのにまだ夏のような陽射しが残る休日、小豆島三都半島の展示会場に行ってきた。

小豆島といえばオリブが風にそよぐ平和の島といったイメージがある。しかし、土木関係の仕事に携わっていた私は、どうしても忘れられない出来事がある。それは台風災害のことだ。就職して間もない駆け出しのころ、昭和49年7月の台風8号は梅雨前線を刺激して小豆島東部に大雨を降らせた。また2年後の昭和51年9月には、台風17号が襲来し、年間雨量を上回る大雨をもたらした。大雨による巨大な土石流は、多くの尊い人命を奪い、家屋や田畑を押し流した。

それらの災害復旧事業の一端に関わった当時を思い出しながら、高松港からフェリーで土庄港へ向かっ

た。下船後車で約30分、懐かしい見覚えのある景色を見ながら現地へ到着してインフォメーションのスタッフの方に検温証明とパンフレットをもらって展示場所へ足を運んだ。

ダイダラウルトラボウ（伊東敏光＋広島市立大学芸術学部有志）

入り江の海岸線から少し坂道を上った丘の上に両手を後ろにつき、大きな長い足をドーンと投げ出した鉄兜の巨人が見えてきた。永い間日本の山河を造り上げてきた巨人が瀬戸内の山海に囲まれてしばしの休憩をしている姿だそうだ。

我々のかけがえないこの地球は



ダイダラウルトラボウ

本来誰の所有物でもない。だから世界中のいたるところにさまざまな「巨人伝説」がある。それらは宇宙や自然界と人間社会をつなぐアイコンなのだそうだ。頭は鋼鉄、胴体と腕は木材、脚は石で作られていて、とにかくすべてが巨大だ。今にも休憩を終えて立ち上がりそうな様子だった。

舟物語（フリオ・ゴヤ）



舟物語

使わなくなった舟を横にして立て掛け、羽と頭をつけカモメの姿にしている。かつて漁業で使っていた道具などを飾り、ベンチと椅子を配置

し、カラフルな色を付けたきれいな作品で、多くの来訪者が写真に収めていた。

現役時代には人々の漁業生活を支えていた船が、オシャレなアート作品に生まれ変わって会場を訪れる人々にしばしの休憩場所を提供していた。

潮耳荘（伊東敏光＋康夏奈＋広島市立大学芸術学部有志）

防潮堤をまたぐ形で海に向かって突き出した大きな金管楽器のホルンのような集音器。その音を聞くため



潮耳荘

の高さ10メートルほどの古材で作られた建造物。中に入ると集音器から海の波や風の音が内部空間全体に響いた。

ここ三都半島ではどこにいても耳を澄ませば波の音や風の音は聞こえる。音によって海と人間の関係を感じ覚的に思い出すように、とつくられた作品だとのこと。

山声洞（伊東敏光＋広島市立大学芸術学部有志）

採石場跡につくられた地下と地上をつなぐように設置された鉄製の彫刻作品。閉ざされた地中空間で鳥や風など森が生み出す音をキャッチす



山声洞



山声洞

るという。

かつて人間が採石のため自然を破壊した場所を森や鳥や動物などが復元し、彼らの楽園に変える。この自然の治癒力に驚かされた作者が、その「自然の治癒力」なるものの正体を聞き取るための作品なのだろうか？

ヒトクサヤドカリ（尾身大輔）

琉球神話に国生みの際、神々が島をつくった後、穴の中にヤドカリが作られ、ヤドカリが繁殖した後に穴の中から人間の男女が生まれたとの物語があるのだそう。 「ヒトクサヤドカリ」とは人間の起源としての

ヤドカリと人を繁茂する草に喩えた「人草」という言葉を合わせたものであるとのこと。民家からはみ出している大きなヤドカリにびっくりです。



ヒトクサヤドカリ

境界線の庭（土井満治）

谷尻地区の海沿いの土砂災害の土砂を埋め立てた土地に、埋もれた鳥居のような石彫を設置。「山から人の生活圏へ、さらに海へと移動する土の移動」と「神秘の自然と世俗などの境界」を意識させることを狙った作品とのこと。



境界線の庭

この谷尻地区は冒頭述べた昭和の大災害で尊い人命をはじめ多くの家屋や田畑を失った地域だ。地中深く埋もれた鳥居を見て、自然と人間社会の営みの境界を感じた作品だ。

最後に地藏灯台の展望台に上り、手の届きそうな対岸のさぬき市志度の大串半島を眺めながら、近代アート作者の思いにどこまで迫れたか自問自答しながら、ふしぎな感動を胸に池田港からフェリーで高松港への帰途についた。

コロナに感染しました

高松市在住 男性76歳 匿名希望

11月9日水曜日、いつも通り出勤

して机に向かっていると少し喉に違和感があり、熱っぽいので検温してみると36度5分だった。60歳を過ぎからは、平熱が36度前後なので念のためかかりつけの医院で検査してもらおうと電話を入れたところ、水曜日の午後は休診とのこと。朝出かけに妻も「風邪ひいたかも」とか言っていたことを思いだし、別の医院で二人の予約をした。

コロナの疑いがあるので午後4時に医院の駐車場でお待ちくださいとのこと。車で待っていると看護師さんが来られて窓越しに状況を聞き取った後、医院に併設した別室でウイルス検査をし、また車の中で待つように言われ、待っていると携帯電話が鳴り「お二人とも陽性です」となった。

私たち夫婦は高齢のうえ、どちらも持病持ちなので、コロナ感染にはいつも注意していたつもりなので耳を疑った。先生から「今のところ熱

もなく症状も軽いので、一番軽いウイルスの増殖を抑える薬と、うがい薬などを出しておきますので自宅で保健所の指示に従ってください」と告げられた。

翌日11月10日、職場へ状況の報告

をした後、保健所から電話が入り、今後の注意点や緊急時の対応についてお話があった。「11月9日の発症なので15日まで7日間は自宅待機してください。16日からは通常通りの生活に戻れます」とのこと。また、「パソコンやスマートホンが使えるなら自宅療養についてのウェブサイト画面に入って、その内容に従った行動をお願いします」と丁寧な説明があった。

その後、毎日午前9時と午後2時に保健所から電話があり、自動音声による健康チェックをうけた。体温、息切れ、頭痛、食欲、排尿など、体調についての報告をした。

今日の体温は36・8度、少し熱っぽく、関節も痛いので手持ちの鎮痛解熱剤を服用してゴロゴロする。昨日医院でもらった1日2回の飲み薬は、朝・夕食後に忘れないようキツチリと服用した。食材は冷蔵庫の中

などにあるもので当面大丈夫だが、さすがに7日は無理だと思うので子供に連絡し、必要なときは届けてもらうこととした。こんな時、頼める人が近くにいることは心強いことだ。

11月11日、発症から3日目を迎

えた。昼間にゴロゴロしている中で、夜ぐっすりとは眠れないが体調はそんなに悪くない。でも、解熱剤をやめると体温は37度前後となり頭がぼんやりするので鎮痛解熱剤は一日3回ほど服用した。処方された薬の副作用に下痢の症状が出ることもある、とあったが、私の場合はひどい下痢に悩まされた。でも腹痛の時になどに若いときから飲んでいる「正露丸」を飲むとよく効いて下痢が止まった。

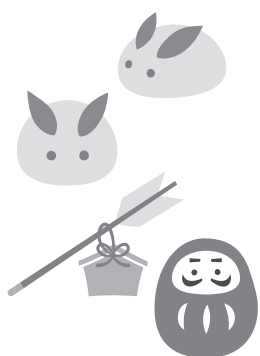
ニュースなどでコロナにかかると味が分からなくなる、と報じられていたが、私の場合特に味覚についての違和感はなかった。発症直後は妻のほうがぐったりして弱々しかったが、今日は妻のほうがだいたい元気になり、衣類の片付けなどをしていて逆転したようだ。

11月12日、発症から4日目、二人

とも熱が下がり、関節痛や喉の痛みも和らぎ、下痢もおさまった。家に閉じこもりきりで体のだるさがあり、本調子とは言えないが、これまでのような風邪の症状はおさまった感じだ。

その後、症状もなくなり11月16日から通常通り勤務できた。これまで私は4回、妻は3回のワクチンを接種していたが妻とともに、重篤な症状が避けられ幸運だったのはワクチン接種が功を奏したのかもしれない。次は12月24日にオミクロン株対応のワクチン接種を予定している。

発症から1か月が過ぎたが、今のところコロナ感染によると思われるような後遺症が残っている感覚はない。このコロナ禍、いつまで続くか予測がつかないが1日も早い終息を願うばかりだ。





寄稿 「海洋環境」

寄稿者：野上和平

私たちが出したゴミや排水による環境破壊のひとつとして、プラスチックなどによる海の汚染が問題となっており、早急に対策を講じなければといわれています。

この課題について高校の卒業研究（卒業プロジェクト）として取組んだ成果について寄稿があったのでシリーズでお送りします。（文中12年生とは高校3年生のことです）

・卒業プロジェクト最後の 大阪海さくら

- ・一月の企画
- ・一月の企画を終えて
・おわりに

卒業プロジェクト最後の 大阪海さくら

二〇二一年も残りわずか。年の瀬も迫った十二月十九日、十一月に参加できなかった大阪海さくらにおよそ二ヶ月ぶりに参加した。一月と二月は予定上海さくらに参加できないので、これが卒業プロジェクト内での最後の海さくらでの活動になった。実はこの日の活動は高等部生徒から参加者を募り複数人で参加したかった。那須代表とも連絡を取り、「ぜひおいで」といつていただいてもいたのだが、スケジュールなどの都合から残念ながら今回は私一人での参加だ。前回の参加から期間が少し空いていたが那須代表をはじめとする海さくらのスタッフの方々は「久しぶりやな」と暖かく迎えてくださった。

毎度のことだが本当にこの大阪海

さくらには暖かい空気が流れている。参加している方々も参加理由も十人十色の中には海さくらのポスターのデザインが気に入ったから参加したというデザイン系の専門学生もいた。その日の参加者の人数は三十人くらいで那須代表の初めの挨拶が終わった後、自己紹介をし非常に和気藹々とした時間になった。

一方、場の雰囲気とは裏腹にその日の冷え込みはかなりのものだった。その日、十二月十九日の大阪市の最低気温は三・七度。平年より二〜三度も低い。

ゴミを拾うため淀川の堤防に上がると海から冷たい風が吹き付けてきた。川から海にかけての水辺は吹きさらしになっており、非常に強い風が吹く時がある。その日はまさにその状態で、持っているゴミ袋や衣服が飛ばされそうになるのも度々だった。しかも風も非常に冷たく気温以上に体感温度は低いのだった。

そんな中行われたゴミ拾いだは相変わらずプラスチックゴミの散乱はひどいもので、四十五リットルのゴミ袋もあつという間に一杯になる。各参加者から集まったゴミはすぐに

山積みになった。しかしそれだけ集めても目に見えてゴミが減った区画は無いに等しい。たった一時間やそこらで三十人ほどの人数がゴミを集めても効果はほとんどない。それどころかこれの何倍もの人が数日かけてゴミを拾ったとしても、また数日後には新たなゴミで海岸線は埋め尽くされるだろう。しかし私はこのゴミ拾いの活動が無駄だとは決して思わない。それは「気持ち大事」などと言う精神論からくる考えではない。もちろんこういったボランティア活動は、個々人の気持ちに依存す





る面が大きいがこの活動は、参加する人同士の交流やコミュニケーションの起点となっている。こういった密なコミュニケーションを取る活動は参加者同士の交流が生まれやすく、参加者それぞれがインフルエンサーになる可能性がある。参加者が新たな参加者を呼び活動の規模は活動を行うごとに大きくなるのだ。大阪海さくらは活動前に参加者が軽い自己紹介をする。これは参加者が少人数であるからこそできることで、大規模な団体ができることではない。これによって参加者同士のコ

ミュニケーションが行われやすくなる。私自身この活動を通して知り合った方々も多い。同年代の参加者も多く活動自体も楽しいと感じるようになるはずだ。

またその日は一月の最終企画の下見も兼ねて淀川沿いを大阪湾にかけて歩いた。いつも大阪海さくらの活動がある此花区の伝法という地区から大阪湾の人工島、舞洲まで歩いたのだが、八キロメートル近くとかなかに距離があった。河川沿いは景色もよく見応えもあったのだが、舞洲周辺の海はかなり荒れていた。人工的に作られた海岸にも関わらず、長らく人が入っていないようだ。人通りもかなり少なく予想外だったが、港を一つ見つけた。北港の対岸にある舞洲手前のボート専用の港で落ち着いたところだったのでお昼ご飯はそのベンチで食べさせてもらうことにした。

一月の企画

今回の企画は九、十、十一、十二年生（中学三年生〜高校三年生）対象で各学年から参加希望者を十二月

のうちに募りました。思いの外たくさんさんの生徒が参加してくれて、楽しみだと温かい言葉をかけてくれました。

今回の目的はとにかく楽しんでもらうこと。強い問題意識を持つことも非常に大切ですが、問題意識ばかりが先行してしまうとそもそもその活動機が分からなくなるなど、視野が狭くなってしまうがちです。そのためまずは海を肌で感じ楽しんでもらう事を最優先にしました。このような目的から今回はゴミ拾い等は行いません。しかしこの企画から海を好きになり自分の中で新たな目的意識を持つてくれることを狙っていました。

当日は天気が良く下見の時とは裏腹に風もほとんどありませんでした。また当日は予想外に気温が高く、寒さ対策も裏目に出てしまいました。しかし歩いた堤防沿いは一月とは思えないほど心地よいものでした。

企画の詳細移動方法、及び散策ルート

●京田辺から電車で大阪此花区の伝法まで行き、そこから淀川の堤防

を歩く。そのまま目的地付近のバス停から京田辺に帰るというルート。

●JR学研都市線同志社前・京田辺・松井山手→京橋→

●JR大阪環状線京橋→西九条→

●阪神なんば線西九条→伝法

伝法駅から淀川の堤防を経て舞洲の舞洲東（バス停）まで歩く

●北郊観光バス舞洲東→ユニバーサルシティ駅前

●JRゆめ咲線ユニバーサルシティ→西九条

●JR大阪環状線西九条→京橋



●J R学研都市線京橋↓松井山手・
京田辺・同志社前

一月の企画を終えて

当日は各学年とも明るい雰囲気
で散策することができたと思います。
本来の目的ではありませんが、対象
を高等部としたことで今回の活動が
他学年との交流の場となったのは今
回の企画の中でも良かったことの
一つであると感じます。



今回も前回の企画と同様にアン
ケートで参加者の皆さんの考えと、
今回の企画についての感想を集め
せていただきました。参加者はクラ
スメートと後輩たちでしたが、み
んな楽しかったと答えてくれました。
そして前回同様にはほぼ全員が現在の
海洋環境の問題について考えてい
る、思っていることがあると答えて
いました。その中でも海に行き遊ん
だり、釣りをしたりする中で実際に
ゴミを見て問題意識を持っていた人
がいて、個人的に少し嬉しく感じま
した。また景色や音、臭いなどの理
由から海を感じることできたと答
えた人が多かったのも企画をしてよ
かったと思えた要因の一つです。一
方でゴミを拾わなくてよかったのか
という意見が複数ありました。この
質問が出たのは私の説明不足でし
た。今回の企画がどういう意図で、
どうあつて欲しいのかという事を説
明せずに、漠然と楽しんでもらいた
いと考えていたのが露呈してしまっ
たのが残念でした。ただ逆に考えれ
ば、参加者の中にゴミを拾うべきだ
と考えていた子が複数いたというこ
とでありそれ自体は嬉しいことでも

ありました。

また散乱しているゴミを見て「ゴ
ミひどいな」と言っている声を何度
も聞きました。もちろん私の企画に
参加してくれている時点で元からゴ
ミ問題に多少興味を持ってくれてい
た可能性もありますが、実際のゴミ
を見てひどいと思えた時点で企画し
た意味があつたのではないかと思
います。

今回の企画も前回と同様に、まず
は海に行つて楽しかったと思えるこ
とが一番重要であると思っていま



す。これは私自身もまだ体験できて
いないことですが、海が楽しいと感
じ本当の魅力を知ることができれ
ば、海が大切である理由など言われ
るまでもなくわかるのではないで
しょうか。今回の企画が私自身も含
めその魅力に触れるきっかけになっ
ていれば幸いです。



おわりに

私の卒業プロジェクトも十二年間の学校生活も終わりを迎える一月末、卒業プロジェクトに取り組んできたこの一年半と向き合う時間が私には必要でした。今まで自分自身の気持ちに従って、私にとって一年半の卒業プロジェクトを行った意味となり得るものを探そうとしてきました。その何かを探す過程は、時に方針の転換となつて私の活動に大きな影響を及ぼしました。卒プロを通して何かをずっと「探して」きた私にとって、変化というものは必然だったのかもしれませんが、私自身その変化を後悔することはありません。

しかし先生方と話したり、この一年半を振り返ってみたりしてみるといつもこの方法はダメだと言うような消去法で進んできており、意味があることのかけらをとりこぼしてしまっているような気がしていました。例えば卒プロの初期に行っていたデータ等に基づいた活動を、あまり意味がなかったと私の中で位置付けてしまっていた時期がありました。当時はこの方法が最も自分にとって楽しくクリエイティを伴って

現状を伝えられると思っていたにも関わらず、いざ始めてみるといまいちしつくり来ず、本質はどこか別の所にあるのではないかと考えるようになりしました。はたまたボランティアなどの活動では問題のより本質的な海と人との距離の近さを感じた気がして、方針や考え方に変化が生まれました。

私はこの一年半、本当に多くの事を経験し、また経験させていただきました。そしてその経験が全て形になったわけではありません。むしろ上手いかなかったことの方が多い



くらいです。そして物事が自分の思うようにいかなかった時、「失敗した」と思ってしまうのです。単なる失敗ではないと頭で理解していても、どうしてもこれまで行ってきた事が「時間の無駄」だったと思ってしまうのです。しかし同時に、それら全てが私の卒プロにおいて無駄でなかった、むしろ重要だったのではないかとも思うのです。

自分が考えていることに確信が持てた時、それはその人の中で大きな力になります。私自身、卒業プロジェクトの中でこれは間違っていないと思ったことが二つありました。一つが考え方の方針を「事実」を紡ぎ出すことから「海と人とのつながり」を探ることに変えた事です。私の中で大きな転換点となったこの変化を私自身ずっと「これでよかったのだろうか」と思い続けていました。そんな時にあるインタビューで「この活動は、単なる環境問題が深刻だからゴミを拾おうという（問題意識だけ）のではなく、海が大好きだから守っていこうという『気持ち』から始まった」という言葉を聞きました。これはまさに当時の私の考えていた

事を言語化してくださったような言葉でした。以前の私は問題意識ばかりが先行して、そもそなぜこの活動をするのかという最も重要なことが疎かになっていたのだと思います。この言葉によって、単なる問題意識ではなく本質的な「気持ち」に目を向けようとしたのは間違っていないかったと思うことができるようになりました。

そしてもう一つが自ら海に行く企画を開催したことです。当初から何かしら参加型の企画をこの卒業プロジェクトで行いたいと考えていましたが、最終的にゴミ拾いなどの直接的な活動ではなく、散策という形になりました。また企画の一番の目的を「海を楽しむ」ということにしたことを、私は個人的にとってもよかったと思っています。私は前述のようにゴミ拾いなどの活動を行って問題意識ばかりが大きくなってしまっは、そもそも何のために活動を行っているのかも分からなくなり本末転倒だと思うのです。もちろん問題意識を強く持つことは非常に重要です。しかしそればかりが先行してしまつと視野が狭まってしまい、根本

的な海への思いが見えなくなりま
す。問題についての知識が浅いとよ
りそうなりがちだと思います。それ
を回避するためには、まずは存分に
企画を、そして海を楽しんでもらう
ことが重要だと思うのです。その点
で二度の企画で「楽しかった」とい
う言葉を何度もかけてもらい、その
中で「ゴミ問題について今一度考え
ることができた」という声が聞けた
ので、本当に企画してよかったと
思っています。初めてのことの連続
で何が正しいのか全くわかりませ
んでしたが、私の中で何かを掴めた
と思えた瞬間があったことは私に大
きなエネルギーを与えていたと思
います。

私の一年半は問いの連続でした。
「なぜ海が汚れているのか?」「なぜ
人は海を守ろうと活動するのか?」
「そもそもなぜ私はこのテーマで活
動しているのか?」。問いは本当に
様々ですが、今も考え続けているの
が十二年生の春頃から何度も聞いた
「海が好きだから活動する」という
言葉に対する問いです。

いったい「海が好き」とはどうい
う事なのでしょう。その場では「な

るほど、海のことを好きなのか」と
納得してしまいそうですが、この言
葉はよく考える必要があります。時
には休日返上で苦しい活動もするの
ですから、単純に「好き」と言っ
てもその度合いは相当なものです。ま
た、お話をした方々は小さい頃から
ずっと海に関わっておられるので
から、海に対して本当に様々な思い
を持っているに違いありません。そ
の中で皆さん「海が好き」という言
葉を選ばれているのです。私は春か
ら約一年、この問いについて考え、
また「海が好き」を体験しようとし
てきました。どういう体験をすれば
理解できたことになるのか、という
この問いに答えはありませんから、
このような体験によつてこれくらい
海が好きになった、などという事を
言葉にするのはなかなか難しいもの
があります。しかしゴミ拾いの活動
を終えて淀川の堤防で何も考えず、
海を眺めているとこの海がずっと本
当に気分が軽くなります。そんな時
もしかしたらこれが海を好きになる
ということなのかと考えたりするの
です。

卒業プロジェクトの終わりも見え

てきた今、私はこれまでの「失敗」
を含めた全ての活動の積み重ねの結
果が、これらの問いではないかと考
えることができるようになってきま
した。こじつけのような考え方で
は、もし方針の転換がなければボラ
ンティア活動やインタビューをこれ
ほど重要視することもなかったと思
います。そしてボランティア活動や
インタビューにしっかり向き合っ
ていなければ、本質的になぜ海を守
べきなのかという問いについて深く
考えることもなかったと思います。
「百聞は一見に如かず」という言葉
がありますが本当にそうで、実際に
活動していなければそもそも私の中
での様々な問いや考え方が生まれる
ことはなかったのです。そう考える
と、この一年半の活動は一つの「道」
でした。そしてその道は紆余曲折し
ながらも確実に一本でした。

まだ私の中の全ての問いに答えが
出たわけではありません。またこの
卒業プロジェクトの後半は、ほとん
ど自分の中の問いと向き合い、イン
タビューをさせていただいた方々、
そして自分自身の心中にあるものを
どう人に伝えられるかを考え、直接

的なゴミ問題とは離れていました。
しかし本質的に私が根底に持ってい
るのは現代そして今後の海洋環境問
題であり、世界中の海が依然私たち
人間の手によって危機的状況である
ことには変わりありません。
その中で私たちがどうあるべきな
のかの答えを出すためにもこの卒業
プロジェクトで生まれた問い、考え
には私自身が向き合い続ける必要が
あります。

私はこれまでの「道」から私の前
に続く次なる「道」へと歩み始めま
す。



令和4年冬号をお届けします。

明けましておめでとうございます。旧年中は何かとご支援ご協力いただき、誠にありがとうございました。本年もどうかよろしく願います。

今回も各センターの皆様にご協力いただきありがとうございます。令和2年春から始まったコロナ禍、3年目に突入しました。昨夏には行動制限が緩和され、全国各地で徐々に行事が復活されました。しかしその後、過去最大の第7波により近隣の介護施設や病院などでクラスターが発生しました。対応に当られた多くの関係皆様のご努力に感謝とお礼を申し上げます。

屋外でのマスク着用は不要とのことですが、様々な規制が緩和される中、いつだれが感染してもおかしくない状況が続いていて、なかなかマスクを手放す勇気が湧いてきません。第8波といわれる感染が続いていますが国は年末年始の感染拡大に備え、オミクロン株対応ワクチンの年内接種を進めています。もう接種は済ませましたか。

感染しても重症化するリスクが低いとはいえ、油断はできません。もう少ししばらく耐える期間が続くそうです。季節性インフルエンザの流行も併せて懸念される中くれぐれも感染に注意しつつご活躍をお祈りいたします。

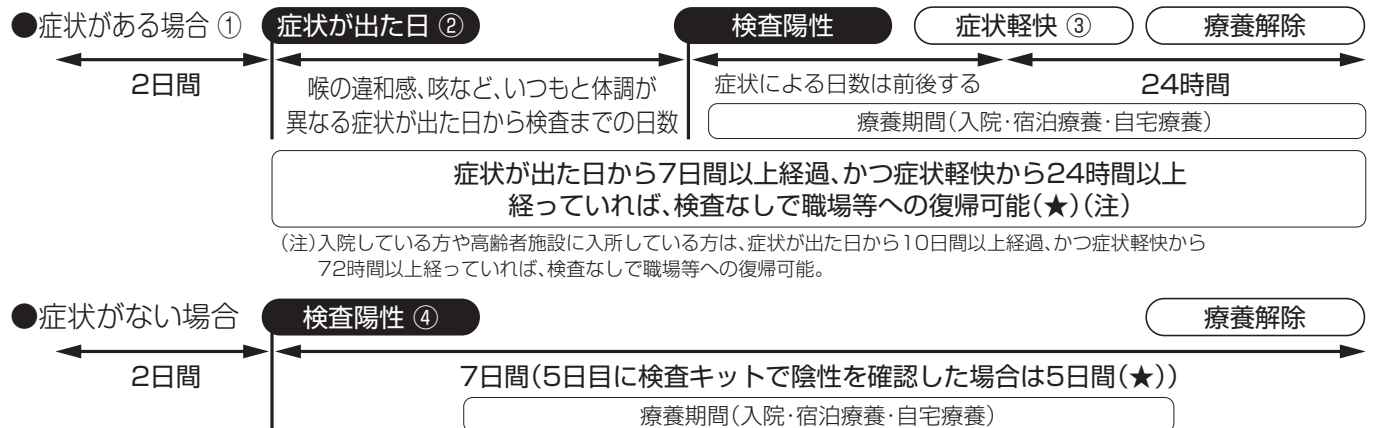
介護職員処遇改善について

介護職員の処遇改善対策について、昨年11月下旬に県から通知がありました。昨年2月から発足した介護現場における「介護職員処遇改善支援補助金」並びに障害福祉現場における「福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金」の実績報告を、令和5年1月31日までに提出するようにとのことです。該当するセンターにおかれてはご対応をお願いします。

これらの制度は令和4年2月～9月までの措置となっていました。厚労省は10月以降も介護報酬の改定により同様の措置を講じるとしていました。それらが令和4年10月から制度化した「介護職員等ベースアップ等支援加算」や「福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算」などです。この制度はこれまでの「介護職員処遇改善加算及び介護職員等特定処遇改善加算」とあわせ当分の間継続した制度となっています。

新型コロナウイルス感染症 陽性だった場合の療養解除について

(★) 症状がある場合は10日間、症状がない場合は7日間が経過するまでは、感染リスクがあります。検温など自身による健康状態の確認や、高齢者等ハイリスク者との接触、ハイリスク施設への不要不急の訪問、感染リスクの高い場所の利用や会食等を避けること、マスクを着用すること等、自主的な感染予防行動の徹底をお願いします。



- ① 人工呼吸器等による治療を行わなかった場合。
- ② 症状が出始めた日とし、発症日が明らかでない場合には、要請が確定した検体の採取日とする。
- ③ 解熱剤を使用せず解熱しており、呼吸器症状が改善傾向である場合。
- ④ 陽性が確定した検体の採取日とする。

<症状のある方>

発症日から7日間経過し、かつ、症状軽快から24時間経過している場合、8日目から療養解除を可能とする。ただし、現に入院している場合には、発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合には11日目から療養解除を可能とする。

<無症状の方>

検体採取日から7日間を経過した場合には8日目に療養解除を可能とする。加えて、5日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合には、5日間経過後(6日目)に療養解除を可能とする。

※ 症状がある方は10日間、無症状の方は7日間、感染リスクが残存することから、自身による検温、高齢者等重症化リスクのある方との接触や感染リスクの高い行動を控えていただく等、自主的な感染予防行動をお願いします。

※ 療養期間中の外出自粛について、有症状の場合でも症状軽快から24時間経過後又は無症状の場合には、外出時や人と接する際は短時間とし、移動は公共交通機関を使わないこと、外出時や人と接する際は必ずマスクを着用するなど自主的な感染予防行動を徹底することを前提に、食品等の買い出しなど必要最小限の外出を行うことは差し支えありません。

介護保険業務の 様々なご要望にお答えします 介護保険トータルシステム「Rely III」 株式会社 アール・シー・エス 〒760-0020 高松市錦町1丁目4番37号 TEL: (087) 802-5133 FAX: (087) 826-5010	はじめて まいたんメール便 です 高松メールセンターからのご案内 メール便... ハガキ 封書 カタログ など 激安価格で 配達します お問い合わせは こちらから 四国メールネットワーク協同組合 (有) タウンネット 高松メールセンター 〒761-8058 高松市勅使町519番地 TEL 087-813-0426 FAX 087-813-0436 E-mail takamatsu@carol.ocn.ne.jp http://www.shikoku-mp.com/	 Achieve everyway 株式会社 ウエイ企画 〒760-0062 高松市塩上町7-2 TEL: 087-837-1159 FAX: 087-897-3007 www.network-way.com WEB・システム グラフィックデザイン イベント企画・運営
あいおいニッセイ同和損保代理店 (株)フリーエージェント *損保・生保・社会保険労務士* 扱っています。 高松市伏石町 2028-2 TEL 087-816-8123 FAX 087-815-1171	福祉車両など お車のことならお任せください  トヨタの福祉車両 「ウェルキャブ」 取り扱いしております 香川トヨタ 定休日 月曜日 本社/高松市春日町1378番地 https://kagawa-toyota.jp	総合印刷・イベント事業・マニュアル制作 デジタルコンテンツ企画制作  株式会社 成光社 高松 東京 〒760-0065 高松市朝日町5-14-2 TEL 087-823-0222 FAX 087-823-0211 www.seiko-sha.co.jp
実務者養成施設 介護福祉士実務者研修 < 通信課程 > ★4月から翌年3月まで毎月受付 「年12コース」各コース定員24名 ★全国どこからでも応募できます ★スクリーニング(通学)は 「医療的ケア演習」を含み7日間 【照会先】 ラポールカレッジ 研修所 / 事務局 TEL 087-815-0760 〒761-8052 高松市松並町 802 番地 1 / 日本ケアシステム協会内 駐車場有り(無料) / 宿泊 1,000 円～	地域とともにこれからも。  香川銀行 トモニホールディングス	消防設備士の店 四国防災設備 有限公司 消防設備保守点検 〒761-0612 香川県木田郡三木町氷上1833-6番地 TEL (087) 898-3913 FAX (087) 898-8801

編集後記

漢字1字で世相を表す「今年の漢字」。令和4年は「戦」でした。アメリカの同時多発テロ事件以来21年ぶりのことです。

ロシアのウクライナ侵攻や冬季オリンピック、サッカーのワールドカップなどで熱戦が繰り広げられたのが主な理由だそうです。他にもコロナとの戦いや諸物価の値上げで生活防衛の戦いなども挙げられるのかもしれません。

さて、令和5年はどんな年になるのでしょうか、穏やかな漢字が選ばれますように。寒い時期が続いています。皆さまご自愛の上、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

ご利用ください。

● E-mail (電子メール) ●



magokoro@hyper.ocn.ne.jp

● URL (ホームページ) ●



<http://www.jp-care.gr.jp>

全国まごころケアネット
特定非営利活動法人 日本ケアシステム協会
まごころケアサービスセンター

センターの名称	住 所	Eメール	TEL	FAX
本 部	〒761-8052 香川県高松市松並町802番地1	magokoro@hyper.ocn.ne.jp	087-815-0771	087-815-0773
まごころケア旭川	〒070-0037 北海道旭川市7条通8丁目セントラル7条ビル202号室	magokolo@tmt.ne.jp	0166-26-8639	0166-74-3172
まごころケア塩釜	〒985-0043 宮城県塩釜市袖野田町39-2	jmss@cocoa.ocn.ne.jp	022-362-2030	022-362-3303
まごころケアサービス 福島センター	〒960-2262 福島県福島市在庭坂宇南林60-2	magokoro@safins.ne.jp	024-573-7539	024-591-5441
まごころケアサービス 二本松センター	〒964-0903 福島県二本松市根崎1-9	kuwabara.masaaki@ivory.plala.or.jp	0243-22-0112	0243-22-0112
まごころサービス 国見センター	〒969-1761 福島県伊達郡国見町藤田日渡四18の1	magokoro923@yahoo.co.jp	024-585-5923	024-585-5924
まごころケア千葉	〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷1-23-15 グランドウール第2-107号	magokoro12315@nifty.com	043-274-9711	043-274-9718
まごころケア京田辺	〒610-0331 京都府京田辺市田辺北川44番地	sqkg13630@eto.eonet.ne.jp	0774-64-3722	0774-64-3722
まごころサービス 岡山センター	〒703-8232 岡山県岡山市中区関19番地1	magokoronowa@mx4.et.tiki.ne.jp	086-278-2926	086-278-2966
まごころサービス 倉敷センター	〒706-0001 岡山県玉野市田井3-12-18	rappyon@lime.ocn.ne.jp	0863-31-6640	0863-31-5110
まごころケア高松	〒761-8052 香川県高松市松並町802番地1	magokoro@hyper.ocn.ne.jp	087-865-8001	087-865-8039
まごころケア国分寺	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分1284-1	ajisai@eagle.ocn.ne.jp	087-874-6625	087-874-6685
まごころケアにこにこ三豊	〒767-0001 香川県三豊市高瀬町上高瀬1883-1	nikoniko-mitoyo@shirt.ocn.ne.jp	0875-73-6750	0875-73-6751
まごころケア丸亀	〒765-0032 香川県善通寺市原田町1317-7	tyusan.n-377-p4376-o@wing.ocn.ne.jp	0877-64-0278	0877-64-0279
まごころケア屋島やすらぎ	〒761-0111 香川県高松市屋島東町1414	mail1ka1584yasuragi@swan.ocn.ne.jp	087-843-9590	087-841-3853
まごころケアサービス 大川センター	〒761-0904 香川県さぬき市大川町田面1198	okawa@samariya.or.jp	0879-43-3191	0879-23-2712
まごころケア西春日	〒761-8051 香川県高松市西春日町1510番地1	keisuke82kasai@gmail.com	087-869-1165	087-869-1195
まごころケア ぽっかぽか川之江	〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町1660-1	kamayan@cosmostv.jp	0896-56-2623	0896-77-5761

「日本ケアシステム協会」会報
令和5年1月1日 発行No.162

発 行 所 〒761-8052 高松市松並町802番地1
TEL087-815-0771 FAX087-815-0773
URL <http://www.jp-care.gr.jp>
編集発行人 兼間 道子
郵便振替 口座番号 01610-0-92689
印刷所 (株)成光社

まごころケア高松
NPO法人 長寿社会支援協会

〒761-8052 高松市松並町802番地1
TEL087-865-8001 FAX087-865-8039
E-mail magokoro@hyper.ocn.ne.jp
URL <http://cho-jyu.info/>